

令和7年度第3回 豊川市子ども・子育て会議 会議録（要約）

令和8年3月27日(金)

午後1時30分から

於：豊川市総合保健センター 研修室

1 あいさつ（会長）

白垣会長によるあいさつ
（略）

2 議事

(1) 少子化に関するアンケート調査及びこども施策に関する意識調査の結果について（報告）

【事務局説明の後、主な委員の質疑・意見】

・「資料26ページの問32において、「配偶者・男性」の欄は女性視点からの配偶者（男性）に対する意見であると思うが、ここだけが2桁の回答数になっており、女性が配偶者に対して感じていることが顕著に表れていて興味深いと感じた。」

・「過去（約20～30年前）と比べ医療費無償化の拡大や育休時における制度面での改善はあり、以前と比べると支援が充実している面もあるが、税・社会保険料負担は1.4倍に増加し、若い世代の負担は重くなっている点から、現在の方が子育てしやすいとは言い切れない部分もある。」

・「消費税が5%から8%になり、増税分を子ども・子育て新制度に充当するということで進んでいるが、現在はさらに10%となっている。経済的支援を求める声が多くあるが、そういった影響も、今回のアンケート結果に影響していると思われる。」

・「育児に注力したいが、家庭の経済事情から育休を短めに切り上げて復帰したり、職場の新入社員から、就職はできたが、奨学金返済などの経済的不安から、結婚や出産に踏み出せない若者がいる。」

・「ヤングケアラーや不登校など、問題を抱える子どもにも目を向ける必要がある。」

・「アンケートの自由意見では、経済的負担（2人目以降の支援、不妊治療無料化、年収の壁の撤廃）、子育てに係る施設拡充、働き方改革（リモートワーク拡充）、シングルでの子育て支援等、明石市のような手厚いサポートを求める声などが挙げられた。」

3 その他

(1) 子ども・子育て支援事業に係る令和8年度予算について（報告）

【説明の後、主な委員の質疑・意見】

・「御津地区に新たに通年で運営される拠点クラブを開設し、定員が40人ということであるが、現在何人入所しているのか。」

（事務局 現時点で26人入所を予定している。）

・「ファミリー・サポート・センターについて、援助会員が増加していかないという話を聞いているが、何か考えているのか。」

（事務局 周知等を行っているが、ロコミやサロン形式で個別に周知を行う方法が一番効果的であり、事業の良さを伝えるという地道な活動が功を奏し、援助会員を確保することができた。アンケートにおいて、報酬額についても、援助側も基本的にはボランティアであるとの認識から高額な報酬を希望する声は多くなく、利用者側の負担も踏まえ、報酬の引き上げは慎重に見極め、引き続き周知に努めたい。

(2) 第3期保育所等整備計画について（報告）

【事務局説明の後、主な委員の質疑・意見なし】

(3) 総合保健センターの事業について（報告）

【施設内を見学しながら事務局より説明】

（事務局より）

- ・次年度の会議日程について
- ・委員の再任・交替について
- ・事務局の人事異動について
- ・子ども健康部長によるあいさつ